

ASAHIKAWA
CITY

令和6年度

事業報告書

旭川市工業技術センター



目 次

1	工業技術センターの概要	1
2	技術基盤	3
3	試験、検査及び測定	4
4	機器開放及び貸室	5
5	技術指導及び相談	8
6	講習会、研修会及び体験事業等の開催	9
7	情報収集及び提供	11
8	その他の主な事業	11

1 工業技術センターの概要

(1) 所在地 旭川市工業団地3条2丁目1番18号
(TEL 0166-36-3111 , FAX 0166-36-4461)

(2) 沿革 昭和63年 7月 7日 建設工事着工
平成 元年 2月 16日 建設工事しゅん功
平成 元年 4月 14日 開 所

機械金属及び関連工業の技術の向上を図るために、技術指導、研究開発、情報の提供を行い、産業の振興発展に寄与することを目的に設置した。

(3) 施設の概要

敷地面積		建築面積		延床面積		構造
14,975.00 m ²		1,681.76 m ²		2,670.78 m ²		鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 2階建
室名	面積(m ²)	収容人員(人)	室名	面積(m ²)	収容人員(人)	
会議室	93.79	36	精密測定室	70.31	—	
視聴覚室	229.71	150	特殊加工室	57.62	—	
実習試験室	175.00	30	メカトロニクス実験室	61.13	—	
設計室	76.56	—	材料試験室	37.50	—	

駐車場収容台数 50台

※室名は主な部屋のみ掲載

(4) 建設事業費 833,849 千円
事業費内訳 建設工事費 553,990 千円 機器購入費 143,722 千円 用地取得費 136,137 千円
財源内訳 道補助金 60,000 千円 日本自転車振興会補助金 104,600 千円
市 債 467,400 千円 一般財源 142,329 千円 その他 59,520 千円

(5) 主要機器

- ①材料試験機器 万能材料試験機、ロックウェル硬さ試験機、ブリネル硬さ試験機
塩水噴霧試験機、コンクリート圧縮試験機、蛍光X線分析装置
- ②非破壊検査機器 超音波探傷機、磁気探傷機、X線探傷機
- ③測定・計測機器 静ひずみ測定器、動ひずみ測定器、デュアルタイプ膜厚計、
超音波厚さ計、粗さ測定器、ハイトマチック、デジタルマイクロスコープ、
ミックスドシグナルオシロスコープ、3Dスキャナ
- ④CAD・CAM 3DCADシステム(Solid Works 2016,Fusion)
3DCADCAMシステム(Mastercam)
- ⑤加工機器 レーザ加工機、旋盤、フライス盤、平面研削盤、バンドソー、
シャリングマシン、プレスブレーキ、TIG溶接機、
ワイヤカット放電加工機、マシニングセンタ、3Dプリンタ

(6) 事業内容

- ①試験・検査及び測定 工業材料の強度試験(引張・圧縮・曲げ・破壊等)、金属の組織試験、工業計測等依頼試験の実施
- ②技術指導及び新技術の導入促進 技術相談、技術指導の実施
先端加工技術の普及と指導(難削材加工、精密切断及び3D加工等)

③講習会・研修会等の開催

工業技術に関する講習会等の開催による人材育成の実施
令和7年度実施予定講習会等

ア 随時開催

- ・初級CAD入門講座 ・CADで学ぶ機械製図の基礎 ・基礎から学ぶレーザー加工機
- ・プレスブレーキとレーザー加工機を連携させた曲げ加工の基礎 ・製品製作のいろは
- ・ガス切断・現場製作について ・基礎から学ぶTIG溶接 ・基礎から学ぶ3DCAD講座
- ・蛍光X線分析装置の活用方法

イ 他機関との共催

- ・ものづくり体験セミナー ・制御システム設計講習会 ・3DCAD講習会

④技術開発及び共同研究

- ・先端機器による生産加工技術の研究開発 ・異業種交流の促進、企業との共同研究

⑤技術情報の収集及び提供

工業技術に関する専門図書（雑誌、書籍等）の閲覧

⑥機械金属工業関係団体の指導育成

機械金属及び関係工業の各団体の代表で構成され、機械金属業界の振興を図り、産業の発展に寄与するため設置された旭川機械金属工業振興会の事務局

また、機械金属及び関連企業に対する、企業情報・補助金情報等の提供及び助言等

(7) 組織

経済部長 — 産業振興課長 — 工業技術センター（7人）

事務職員3人（内、会計年度任用職員1人）

技術職員4人（内、会計年度任用職員2人）

(8) 事業実績（直近5か年分）

（単位：件、時間、人）

実施事業	年 度	R2	R3	R4	R5	R6	
試験、検査及び測定	試験等依頼件数	1,024	842	882	842	593	
	成績書謄本交付件数	10	5	1	1	13	
	(小計)	1,034	847	883	843	606	
機器開放及び貸室	部屋及び物品使用件数	212	266	301	304	305	
	機器使用	件数	582	517	483	534	548
		時間	1,563	1,533	1,360	1,800	2,360
	(小計)	794	783	784	838	853	
技術指導及び相談	面接相談指導件数	41	39	38	65	48	
	企業訪問指導等件数	13	0	16	24	27	
	(小計)	54	39	54	89	75	
講習会、研修会等の開催	講習会等開催件数	29	26	24	30	41	
	受講者数	171	132	156	312	242	

(9) 施設維持修繕等 (直近3か年分)

(単位：千円)

年 度	件 名	金 額
令和4年度	男子トイレ換気扇修繕	72
	屋外マンホール修繕	219
	レーザ加工機用高圧配管修繕	717
	万能材料試験機部品交換修繕	945
	3Dプリンタ内蔵ポンプ交換修繕	985
	温水パネルヒーター交換修繕	506
	視聴覚室照明器具LED化修繕 (コロナ対策)	528
	会議室照明器具LED化修繕 (コロナ対策)	715
	視聴覚室及び会議室Wi-Fi環境構築修繕 (コロナ対策)	1,114
	視聴覚室及び会議室空調機取付工事 (コロナ対策)	6,710
令和5年度	暖房配管・パネルヒーター薬品洗浄修繕	990
	暖房設備修繕	68
	通用口ドア修繕	20
	暖房設備部品交換修繕	435
	レーザ加工機部品交換修繕	2,037
	汎用平面研削盤修理	429
令和6年度	空調機取付工事 (センター入居4団体事務室)	3,025
	レーザ加工機部品交換修繕	326
	女子トイレ水漏れ修繕	19
	消火設備取替修繕	37
	排煙窓交換修繕	165
	複合防災盤交換修繕	990

2 技術基盤

公設試験研究機関は、地域企業の研究開発の支援機関として大きな役割を担っており、本市には木工芸及び窯業の生産技術の向上並びに品質改善等の研究指導を行う旭川市工芸センター、機械金属及び関連工業の技術指導、研究開発、情報提供を行う旭川市工業技術センターがある。

これらの施設の技術指導用機器の拡充などを通して試験研究の推進、技術指導の強化を図り、地域企業、工業の振興発展に努めている。

(1) 工業技術センター設備整備費

目 的 機器等の整備を進め、工業技術センターの機能を充実し、機械金属工業等の製品の付加価値化、生産の合理化を図る。

始 期 平成元年度

機器導入実績

年 度	金 額	機 器
令和2年度	8,087千円	バンドソー更新 デジタルマイクロスコープ 250倍～2500倍対応レンズ一式追加 エアコンプレッサー更新 ((株)長谷川工作所様 寄附金の活用)

令和3年度	1,055千円	TIG溶接機 ((株)サークル商事様より寄付)
令和5年度	570千円	デュアルタイプ膜厚計 (吉峰鉄工(株)様より寄付) 3DCAD (Fusion)
令和6年度	9,161千円	蛍光X線分析装置 (リース契約)

3 試験、検査及び測定

(1) 試験、検査等の手数料及び件数

(単位：円、件)

項 目		1件当たりの金額	件数	金額
材 料 試 験	引張試験	2,040	509	1,038,360
	曲げ試験	2,330		
	せん断試験	2,040		
	圧縮試験	2,380	59	140,420
	破壊試験	2,900	6	17,400
	偏平試験	2,900		
	荷重試験	2,900		
	マクロ組織試験	3,410	19	64,790
	電子顕微鏡試験	6,020		
計測・ 測定試験	寸法精度測定 0.1mm以上	1,090		
	寸法精度測定 0.01mm以上	1,670		
	粗さ測定	2,250		
	膜厚試験	760		
合 計			593	1,260,970

(2) 交付手数料及び件数

(単位：円、件)

項 目	1通当たりの金額	件数	金額
成績書謄本	460	13	5,980

4 機器開放及び貸室

(1) 機器の使用料及び件数

(単位：円、件、時間)

機 器 名		1 時間当たり の金額	件 数	時 間	金 額
材 料 試 験 機 器	万能材料試験機	1,880	3	5	9,400
	シヨア硬さ試験機	630			
	ロックウェル硬さ試験機	630			
	ブリネル硬さ試験機	630			
	微小硬さ計	700			
	塩水噴霧試験機	780			
	走査電子顕微鏡	1,700			
	コンクリート圧縮試験機	1,260	1	2	2,520
	蛍光X線分析装置	2,850	86	98	279,300
非破壊 検査 機器	超音波探傷機	830			
	磁気探傷機	610			
	X線探傷機	610	6	43	26,230
測 定 計 測 機 器	静ひずみ測定器	830			
	動ひずみ測定器	830			
	デジタル表面温度計	580			
	デジタル放射温度計	600			
	電磁膜厚計	610	1	1	610
	高周波膜厚計	600			
	超音波厚さ計	630	1	1	630
	電子風速計	600			
	ペーハーメーター	580			
	粗さ測定器	830			
	ハイトマチック	630	1	2	1,260
	デジタルマイクロスコープ	1,420	1	3	4,260
	ミックスドシングルオシロスコープ	840			
3Dスキャナ	1,380	12	26	35,880	

機 器 名		1時間当たり の金額	件 数	時 間	金 額
加 工 機 器	レーザ加工機	4,590	296(1)	950(2)	4,351,320
	旋 盤	1,260			
	フ ラ イ ス 盤	1,300	1	7	9,100
	平 面 研 削 盤	1,260			
	バンドソー	1,050	1	2	2,100
	シャリングマシン	1,260	11	12	15,120
	コーナーシャー	1,110			
	プレスブレーキ	1,190	17	26	30,940
	アーク溶接機	820	60(8)	926(688)	195,160
	半自動アーク溶接機	780	34	175	136,500
	T I G 溶接機	890			
	ワイヤカット放電加工機	1,680	14	67	112,560
	マシニングセンタ	1,690			
	3Dプリンタ	1,490	2	14	20,860
合 計			548(9)	2,360(690)	5,233,750

※件数・時間の（ ）内の数は、減免申請利用分で内数。

(2) 部屋の使用料及び件数

(単位：円、件)

種 別	時間区分	使用料	暖房料	件 数	金 額
会 議 室	午 前(9 時～12 時)	1,170	230	43(25)	54,890
	午 後(13 時～17 時)	1,570	310	36(25)	64,270
	夜 間(18 時～21 時)	1,170	230	17(9)	21,960
	全 日(9 時～21 時)	3,910	780		
視 聴 覚 室	午 前(9 時～12 時)	2,880	570	46(11)	132,990
	午 後(13 時～17 時)	3,850	770	51(16)	208,670
	夜 間(18 時～21 時)	2,880	570	2(1)	6,330
	全 日(9 時～21 時)	9,610	1,920	6(3)	63,420
実 習 試 験 室	午 前(9 時～12 時)	2,200	440	32(12)	75,680
	午 後(13 時～17 時)	2,930	580	35(14)	110,670
	夜 間(18 時～21 時)	2,200	440		
	全 日(9 時～21 時)	7,330	1,460		
合 計				268	738,880

※暖房料は11月1日～4月30日の期間に加算される。

※件数の()内の数は、暖房加算件数で内数。

(3) 備付物品の使用料及び件数

(単位：円、件)

品 名	単 位	使用料	件 数	金 額
ビデオプロジェクター	1回、1式	540	37	19,980
コピー使用料	1枚	10		
合 計			37	19,980

5 技術指導及び相談

(1) 技術相談・技術指導内容及び件数

技術相談・技術指導内容	件数	小計
1 材料（成分分析、組織）、試験検査に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・マクロ組織試験について ・引張試験について ・管の引張試験・曲げ試験について ・圧縮試験・曲げ試験について ・石の圧縮試験について ・蛍光X線装置による成分分析について ・製品の硬さ測定及び成分分析について ・アルミのスポット溶接の強度試験について ・ナットのスポット溶接の押し抜き強度試験について ・接着剤の接着強度測定について ・扁平試験について ・荷重試験について ・表面粗さ測定について ・セラミックスの破壊試験について ・油圧ホースの破損原因について ・ドアの断熱性能の測定について 	3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	20
2 各種加工・検査機器等に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・3Dスキャナの使用について ・3Dスキャナによる3Dデータの作成について ・3Dスキャナによる3Dデータ化・3Dデータの2D化及びレーザ加工について ・3Dスキャナによる3Dデータ化・3Dプリンターによる製品製作について ・3Dプリンターによる製品製作について ・ワイヤカット放電加工機による加工について ・プレスブレーキによる加工について ・走査電子顕微鏡について 	1 4 1 1 3 1 1 1	13
3 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・技術講習会について ・トラクターの部品製作について ・調理道具の新製品開発について ・溶接集塵機の定期自主検査について ・市内の試験・検査分野の就職先について ・コンベックスの校正について ・対応可能な事業者・支援機関・相談先等の紹介について (内訳) 事業者：製品修理、薄板加工、家具テーブル、産業機械、ステンレス製品 支援機関：水流シミュレーション、NC旋盤 相談先：再生可能エネルギー活用、シラカバ樹液の塗料	1 1 1 1 1 1 9	15
合 計		48

6 講習会、研修会及び体験事業等の開催

(1) 講習会実施状況一覧

日時	テーマ	講師	件数 (日)	受講者 (延べ数)
4/4	製品製作のいろは	センター講師	1	2
4/10～4/11	初級C A D入門講座	センター講師	2	2
4/22～4/23 4/26	基礎から学ぶ3 D C A D講座 (Fusion360 編)	センター講師	3	3
4/24～4/25	初級C A D入門講座	センター講師	2	2
4/26	製品製作のいろは	センター講師	1	1
5/31	製品製作のいろは	センター講師	1	1
6/11～6/12	初級C A D入門講座	センター講師	2	4
6/17	基礎から学ぶレーザ加工機	センター講師	1	1
6/17	製品製作のいろは	センター講師	1	1
6/20	メタルワーク体験事業第1回 (A D W 2 0 2 4)	センター講師	1	3
6/24	基礎から学ぶT I G溶接	センター講師	1	1
7/2	製品製作のいろは	センター講師	1	1
7/9	製品製作のいろは	センター講師	1	1
7/10	基礎から学ぶT I G溶接	センター講師	1	1
7/17	施設見学 (旭川工業高等専門学校)	センター講師	1	30
7/26, 7/29	基礎から学ぶレーザ加工機	センター講師	2	2
8/13～8/14 8/16～8/17	メタルワーク体験事業第2回	センター講師	4	30
8/25	溶接技能者評価試験直前講習会	外部講師	1	12
10/15, 10/21	基礎から学ぶ3 D C A D講座 (Fusion360 編)	センター講師	2	2
10/17	製品製作のいろは	センター講師	1	1
11/9	3 D C A D講座 (Solid Works 編)	外部講師	1	9
11/9	メタルワーク体験事業第3回 (ものづくり体験教室)	センター講師	1	9
11/23	メタルワーク体験事業第4回 (あさひかわキッズタウン)	外部講師	1	36
11/28	溶接技能者評価試験直前講習会	外部講師	1	8
12/4	キントーンハンズオンセミナー (1回目)	外部講師	1	13
12/24	製品製作のいろは	センター講師	1	1
1/11	メタルワーク体験事業第5回	センター講師	1	22
1/22	キントーンハンズオンセミナー (2回目)	外部講師	1	10
2/25	移動工業試験場	外部講師	1	13
3/24～3/25	P L Cによるシーケンス制御基礎講座	外部講師	2	20
合 計			41	242

(2) 講習会等実施内容一覧

①工業技術センター単独の講習会（講師：センター講師）

テ ー マ	講 習 会 内 容
■初級CAD入門講座	CADの基本的な作図コマンドの使い方や設定方法についての講座を実施。
■基礎から学ぶレーザー加工機	加工プログラムの作成から実際の加工処理までのレーザー加工に関する基礎について講座を実施。
■製品製作のいろは	図面の読み取り方や、溶接の基本、鋼材の知識など製品製作に関する知識・技術について講座を実施。
■基礎から学ぶTIG溶接	TIG溶接機の基本的な使い方やTIG溶接に関する知識・技術について講座を実施。
■基礎から学ぶ3DCAD講座 (Fusion360編)	3DCADの基本操作やFusion360による製図操作の習得、製品データ作成、各種解析について講座を実施。

②他機関との共催講習会等

テ ー マ	講 習 会 内 容
■3DCAD講座(Solid Works編) 講師：旭川工業高等専門学校	(独)国立高等専門学校機構 旭川工業高等専門学校、旭川機械金属工業振興会、旭川商工会議所、産業技術振興会と共催で実施。基礎技術の向上や新技術、高度な技術の習得、高付加価値型製品開発、生産体制の強化等、地元企業における競争力強化を目的として開講。3DCADを使用した設計技術講習を通して3次元設計の重要性の理解促進に努めた。
■PLCによるシーケンス制御基礎講座 講師：旭川高等技術専門学院	旭川高等技術専門学院、旭川機械金属工業振興会との共催により、シーケンス制御に関する概要及び基本動作、小型実習機を使用したラダープログラミングによるシーケンス制御についての講座を実施した。
■溶接技能者評価試験直前講習会 講師：旭川溶接協会	旭川溶接協会との共催により、溶接技能者評価試験の合格率向上を目的とした試験対策講習会を実施した。

③その他事業

テ ー マ	講 習 会 内 容
■施設見学 講師：センター講師	旭川工業高等専門学校の学生を対象に施設見学の受け入れを実施し、施設内の設備について実演を交え紹介した。
■メタルワーク体験事業 講師：センター講師	旭川機械金属工業振興会との共催により、学生を対象としたメタルワーク体験を実施。「あさひかわデザインウィーク2024」や、ポリテクセンター旭川が主催する「ものづくり体験教室」、旭川市主催の「あさひかわキッズタウン」への出展を含め、計5回の体験事業を行った。
■キントーンハンズオンセミナー 講師：サイボウズ株式会社	旭川ICT協議会主催、旭川機械金属工業振興会、旭川情報産業協同組合との共催により、キントーンハンズオンセミナーを開催。機械金属製造業界の人材不足対策の一環として、実務担当者向けキントーン体験セミナーを実施した。
■移動工業試験場 講師：北海道立総合研究機構	(地独)北海道立総合研究機構との共催により、コストダウンの進め方・高出力レーザーを用いた材料加工技術・都市鉱山からの貴金属及びレアメタル回収技術に関するセミナーを開催した。

7 情報収集及び提供

(1) 技術関連図書・資料の開放

ロビーで専門図書、技術雑誌及び各種情報を提供した。

(2) 令和5年度事業報告書の作成

令和5年度事業報告書を作成した。(令和6年7月発行)

(3) ホームページによる情報提供

◆旭川市工業技術センターホームページ

<URL> <https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/dept/50000000/50350000/>

<内容> ・沿革
・事業内容
・新導入機器紹介
・開放設備機器
・会議室／視聴覚室等の貸室
・依頼試験／検査
・技術相談／指導／支援
・各種講習会開催
・企業情報データベース
・交通アクセス

(4) 企業情報データベース登録企業への情報提供

メール・FAX等を活用し、各種補助金やセミナーに関する案内を周知した。(20件)

8 その他の主な事業

(1) 会議等への参加

■第115回全国公設鉦工業試験研究機関事務連絡会議

場所：書面による

■第67回東北・北海道地区公設鉦工業試験研究機関事務連絡会議

場所：書面による

■北のものづくりネットワーク会議

日時：令和7年2月13日

場所：北海道総合研究プラザ（札幌市北区北19条西11丁目）

(2) 職員の研修

■特別管理産業廃棄物管理責任者講習

日時：令和6年9月13日

場所：北海道経済センタービル（札幌市中央区北1条西2丁目2-1）

受講者：1名

■甲種防火管理者新規講習

日時：令和6年10月31日～11月1日

場所：イオンモール旭川駅前「イオンホール」

受講者：1名

(3) 運営委員会の開催

■令和6年度旭川市工業技術センター運営委員会開催

日時：令和6年8月29日

場所：工業技術センター

議題：令和5年度事業報告、令和6年度の取り組みについて、再生エネルギーの活用について

(4) 技術シーズネットワーク会議の開催

■旭川ものづくり技術シーズネットワーク会議

日時：令和6年7月31日

場所：旭川市工業技術センター

内容：旭川市内のものづくり産業支援機関等が連携し、地元企業の支援を図ることを目的に支援機関間の組織的な連携体制を構築した会議。その第4回目を開催した。

旭川市工業技術センター運営委員会委員名簿

【令和7年3月31日時点】

区分	所 属	職 名	氏 名
機械金属工業等関係者	旭川機械金属工業振興会	会 長	佐々木 通彦
	旭川鐵工組合		森本 千晶
	旭川溶接協会	会 長	松田 誠一
	(一社)北海道機械工業会旭川支部	支 部 長	関山 真教
	旭川工業団地協同組合	副理事長	田村 総司郎
	旭川板金工業協同組合	理 事 長	村椿 幸二
	旭川塗装工業協同組合	理 事 長	黒田 隆一
学識経験者	旭川商工会議所	常務理事	川口 勤
	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 北海道支部北海道職業能力開発促進 センター旭川訓練センター	訓練センター長	石津 豪一
	北海道立旭川高等技術専門学院	学 院 長	新山 辰彦
	(独)国立高等専門学校機構 旭川工業高等専門学校	助 教	菅 結実花
	(一社)北海道建築士会旭川支部	女性委員会 副委員長	中田 富知子



令和6年度旭川市工業技術センター事業報告書

令和7年6月発行

発行：旭川市経済部産業振興課工業技術センター

〒078-8273

旭川市工業団地3条2丁目1-18

TEL：0166-36-3111

FAX：0166-36-4461

E-mail：kougyoucenter@city.asahikawa.hokkaido.jp

URL：https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/dept/50000000/50350000/

